

地球温暖化対策実行計画実施状況の点検・評価

和歌山県後期高齢者医療広域連合地球温暖化対策実行計画に基づき、取組み実績及び取組み項目の実施状況を点検し、公表します。

1. 温室効果ガス排出量実績

年度	サーバー室 電気使用量(kWh)	ガソリン 使用量(ℓ)	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素ガス排出量 kg)	削減率
2019年度 (令和元年度)	25,139	441.98	11,961	(基準年)
2020年度 (令和2年度)	16,168	711.91	7,149	-40.23%
2021年度 (令和3年度)	14,896	821.64	7,300	-38.97%
2022年度 (令和4年度)	15,291	622.97	6,017	-49.69%
2023年度 (令和5年度)	15,896	935.08	7,892	-34.02%
2024年度 (令和6年度)	16,451	922.68	9,006	-24.71%
2029年度 (令和11年度)	22,625	397.782	10,765	(目標) 10%削減

2. その他の取組み状況と評価

基準年度である令和元年度の温室効果ガス排出量から24.72%の削減となり、「令和11年度に10%削減」という目標を上回る削減率を保っている。

電気使用量の増加は、機器更改により新旧のサーバーを平行稼働させたことが主な要因と考えられる。

ガソリンの使用量は昨年より減少したが、運転時はできるだけ一定の速度で走るエコドライブを徹底し、さらに削減できるよう取組みを進めたい。